

## VI. ヘッジ会計の方法

株式会社 西京銀行

ヘッジ会計の方法は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号)に規定する経過措置にもとづき、貸出金・預金等の多数の金融資産・負債から生じる金利リスクをデリバティブ取引を用いて総体で管理する、「マクロヘッジ」を実施しております。これは、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第15号)に定められたリスク調整アプローチによるリスク管理であり、繰延ヘッジによる会計処理を行っております。また、リスク管理方針に定められた許容リスク量の範囲内にリスク調整手段となるデリバティブのリスク量が収まっており、ヘッジ対象の金利リスクが減殺されているかどうかを検証することにより、ヘッジの有効性を評価しております。

リスク調整アプローチに基づくマクロヘッジ会計に係るヘッジ手段の内容は以下のとおりであります。

### 1. 取引の時価等に関する事項

【単体】

(単位:百万円)

区分	種類	14年9月末			
		契約額等	うち1年超	時価	評価損益
店	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	-	-	-	-
	受取変動・支払固定	19,408	18,918	△ 1,489	△ 1,489
頭	受取変動・支払変動	-	-	-	-
	合計			△ 1,489	△ 1,489

### 2. 取引の残存期間別残高

【単体】

(単位:百万円)

種類	期間	残存期間				合計
		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	
	金利スワップ					
	受取固定・支払変動	-	-	-	-	-
	受取変動・支払固定	490	7,545	10,496	876	19,408
	受取変動・支払変動	-	-	-	-	-
	合計	490	7,545	10,496	876	19,408